奨学金貸付申請書記入上の注意事項

1　本人欄

(1) 氏名　戸籍上の氏名を楷書で記入し、フリガナをふる。

(2) 在学校名　現在、在学している学校名を記入する（略称不可）。

(3) 進学志望校名　第一志望校を記入する。

(4) 生年月日　本人の生年月日を記入する。

(5) 月額貸付金・入学準備金　該当する金額を記入する。

区　　分	奨　学　金　（月　額）		入　学　準　備　金
高　等　学　校 高等専門学校 専修学校(高等課程)	国立又は公立	１８，０００円	１００,０００円以内
	私　　立	３５，０００円	２００,０００円以内

(6) 現住所　郵便番号と住所を記入する。

(7) 電話番号　自宅の電話番号を記入する。

2　身元保証人欄

父母又はこれに代わる者で、将来、育英資金返還の責任を負い得る者であること。

※　貸付終了時に提出する借用証書には、もう一人連帯保証人が必要となるので、ご承知おきください。

(1) 職業　公務員や会社員等ではなく、詳しく記入する。（例）○○会社○○係

(2) 本人との続柄　身元保証人と本人との関係を記入する。（例）父、母

(3) 電話番号　昼間は留守が多い場合、自宅以外に連絡できる電話番号（勤務先など）も記入する。

3　生計を一にする家族及び所得欄

この欄は、就学者以外の方と、就学者(学校に通っている方)に分けて記入する。

(1) 就学者を除く家族　就学者を除いた家族で､別居または独立して生計を営む者は除く。

①（続柄）本人との関係を記入する。父、母、祖父、祖母、兄、姉の順で記入する。

②（年齢）申請書提出日現在の満年齢で記入する。

③（所得の種類）給与所得、事業所得、年金所得、生活保護、その他、の種類を記入する。

④（収入金額・所得金額）

・給与所得者の場合…住民税（非）課税証明書の「給与収入（支払金額)」欄の金額を収入金額欄に記入する。

・給与所得者以外の場合…確定申告書の「所得金額」の「合計」欄の金額、または住民税（非）課税証明書の「合計所得金額」欄の金額を所得金額欄に記入する。

(2) 就学者

①（続柄）本人との関係を記入する。

②（設置者別）国公立・私立のいずれかに○を付ける。
③（学校種類別）小学・中学・高校・高専・専修(高等)・専修(専門)・大学等の種類を記入する。
④（学年）学年を記入する。
⑤（通学別）自宅・自宅外のいずれかに○を付ける。
※欄が不足したら、紙を貼り足してください。

4　家庭事情欄

選考上特に重要なことなので、家庭状況、家計の収入や支出の状況等をできるだけ詳しく具体的に記入する。（例えば、父子・母子世帯である、家族に障害者や長期療養者がいる、主たる生活維持者が別居している、家計支持者が死亡した、不慮の災害に遭った等）

5　申請・誓約欄

(1)（本人氏名）本人が自筆で記入する。印は、今後奨学金を受け取る場合に使用する印と同じものを使用すること。
(2)（身元保証人氏名）保証人自身が自筆で記入する。

6　その他

育英会で定める基準を上回る収入がある方は、貸付を受けることはできません。
詳しくは、別紙「公益財団法人墨田育英会で定める家計基準について」をご覧ください。